

香川県水産業基本計画の成果と課題及び次期計画の主な施策のイメージ

次期計画の策定にあたっては、新たな視点からの施策の整理と新たな課題に取り組み、ステップアップを図る。

○優良な養殖水産物の安定供給 ○かがわの地魚の情報発信・販売促進 ○かがわ漁業塾を活用した、香川県の水産業を担う漁業者の確保・育成

新鮮な旬の水産物の提供

【現計画の成果】

- ・地域団体商標2件を含め16件の商標を登録
- ・ハマチ、ノリ、イリコを中心とした販売促進に取り組み、知名度は上昇している
- ・オリーブハマチの科学的評価を行い、優位性を確認した
- ・「お魚一匹食べよう伝道師」による食べ方教室を多数開催することができた
- ・漁場見学など消費者と生産者の交流が行われた

【課題】

- ・商標登録が販売促進に結びついていないものが多い
- ・水産物の科学的評価に基づく販売戦略が立てられていない
- ・子育て世代の親に魚料理の基本が継承されていない
- ・少量多品種のかがわの地魚の消費拡大に取り組みしていない
- ・養殖水産物への理解がまだまだ進んでいない

水産物の安定生産体制づくり

【現計画の成果】

- ・オリーブハマチ、オリーブぶりの生産拡大を図った
- ・資源管理、種苗放流の取組みによる、サワラ資源量・漁獲量の増加
- ・閉鎖循環システムの導入によりキジハタ種苗生産の尾数増、安定化ができた
- ・ノリ色落ち対策として施肥の効果や魚類等の食害の実態を把握できた

【課題】

- ・オリーブハマチ・オリーブぶりの生産数量の維持とオリーブ葉の確保
- ・イリコ生産における脂イワシ問題とチリメン不漁原因の解明
- ・ノリ色落ち対策の現場への適用、費用対効果、食害被害の軽減策の確立

【現計画の成果】

- ・漁業就業者確保育成センターを中心に新規就業者を確保した
- ・藻場造成、増殖場造成による幼魚、稚魚の育つ場づくりや海ごみ対策を行った
- ・市町が行う、漁港施設、漁港海岸保全施設延長を支援した

【課題】

- ・新規就業者が少ない
- ・高潮対策はある程度進んだが、津波、耐震化までは到達していない
- ・漁協合併が進まず、零細な漁協が多数存在し、経営基盤の弱体化が進んでいる

消費者の五感が求める水産物の生産と消費拡大・販売強化

【対応方向のイメージ】

- ◆オリーブハマチの安定生産体制の強化
 - ◆オリーブ葉など香川の特徴を活かした新たな養殖魚の開発・強化
 - ◆讃岐さーもん等新たな養殖水産物の開発・増産
 - ◆主要漁獲対象種の資源管理による持続的な利用
 - ◆ノリの生産性の向上・経営の効率化の推進
 - ◆販売促進を行っていなかった地域への取組強化
-
- ◆高品質で特色ある水産物(機能性成分など)を消費者にアピールした販売促進活動の推進
 - ◆世代に対応した食育・料理教室の開催
 - ◆時短でできるおいしい魚料理の提供
 - ◆地魚のニーズを把握し、消費者の求める商品ラインナップ、一次加工法開発
 - ◆地魚のおいしさを紹介するため、量販店、飲食店、ホテル等と連携したPR
 - ◆水産物の理解を高める消費者と生産者の交流拡大
 - ◆多様な流通ルートの構築(ICTの利用)

元気な漁業者の育成と生産力を高める漁場の創造

【対応方向のイメージ】

- ◆新規就業者確保のため、「かがわ漁業塾」の設置や漁船・漁具リース支援等の一貫した就業支援を実施
- ◆漁業者への経営安定対策や操業安全対策の支援
- ◆藻場・増殖場整備や海ごみ回収・処理事業への支援
- ◆市町が行う、漁港施設整備に必要な支援を行う他、地震・津波対策海岸堤防等整備計画を推進
- ◆自主的な漁協合併等による基盤強化